



平和首長会議ニュース

2025年1月 / 第181号

平和首長会議加盟都市数

166 か国・地域 **8,466** 自治体

加盟都市数 10,000 都市を目指しています！

日本国内加盟自治体数 : 1,740

(2025年1月1日現在)

平和首長会議の最新ニュースはこちらでチェック！



ウェブサイト:

<https://www.mayorsforpeace.org/ja/>



フェイスブック:

<https://www.facebook.com/mayorsforpeace>



X(旧ツイッター):

<https://x.com/Mayors4Peace>

「いいね！」をお待ちしています。

<<今号の内容>>

- ◆ 第12回平和首長会議国内加盟都市会議総会を開催しました
- ◆ こどもたちによる“平和なまち”絵画コンテスト2024の入賞作品紹介動画を公開しました！
- ◆ 平和に関する取組の調査へのご協力をお願いします！
- ◆ 被爆80周年における平和文化の振興の取組について
- ◆ 2025年8月に第11回平和首長会議総会を長崎市で開催します
- ◆ 平和首長会議は展示データ提供を行っています！
- ◆ 平和首長会議メンバーシップ納付金にご協力をお願いします
- ◆ 加盟都市の活動紹介
- ◆ 平和教育の取組事例を募集しています
- ◆ 平和首長会議加盟自治体数:166か国・地域 8,466自治体
- ◆ 平和首長会議行動計画に掲げる取組の実施にご協力ください
- ◆ 長崎大学核兵器廃絶研究センターから:2024年版「世界の核弾頭データ」ポスター解説③
- ◆ ヒロシマ発平和関連ニュース(中国新聞ヒロシマ平和メディアセンター提供記事)
- ◆ 広島被爆者7団体が実施する「日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める署名」について

■第12回平和首長会議国内加盟都市会議総会を開催しました

1月16日(木)と17日(金)の2日間、国内における平和首長会議の取組についての協議・意見交換、加盟都市の取組についての情報交換等を行うため、第12回目となる国内加盟都市会議総会を東京都武蔵野市で開催し、全国から100都市177人に御出席いただきました。



武蔵野市立第三小学校吹奏楽団



議案の審議

一日目は、武蔵野市プログラム「ピースフロム武蔵野」として、武蔵野市立第三小学校吹奏楽団による演奏、武蔵野市プロモーション映像上映、武蔵野市の平和の取組発表、戦争体験者講話、写真家 大石芳野さんによる講演「戦禍をこえて」等が行われました。

二日目は、大府市副市長、日野市長、京都市総合政策室長、古賀市長から平和に関する取組事例の報告を受けた後、事務局から、平和首長会議メンバーシップ納付金令和5年度決算、第11回平和首長会議総会の開催、被爆80周年の取組事項について報告しました。

さらに、核兵器廃絶に向けた日本政府に対する要請文の提出及び戦後80周年を契機とした若い世代への平和学習の展開に関する申合せについて、審議・決定しました。

最後に第12回平和首長会議国内加盟都市会議総会総括文書を採択し、閉会しました。

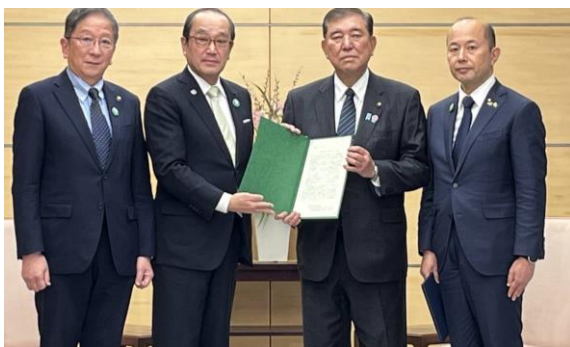
また、日本政府への要請文については、国内総会終了後の17日(金)の午後、広島市長(平和首長会議会長)、長崎市長(同副会長)及びこの度の国内総会開催地市長である武蔵野市長が、石破内閣総理大臣に直接手渡し、要請を行いました。

🔗 総会の開催結果等については、平和首長会議ウェブサイトをご覧ください。

第12回平和首長会議国内加盟都市会議総会:

<https://www.mayorsforpeace.org/ja/new/2025/post-250127-5/>

日本政府への要請文提出: <https://www.mayorsforpeace.org/ja/new/2025/post-250127-4/>



要請文の提出



被爆80周年「平和首長会議国内加盟都市会議」ロゴマーク

■こどもたちによる“平和なまち”絵画コンテスト2024の入賞作品紹介動画を公開しました！



平和首長会議では、加盟都市における平和教育の更なる充実を図るため、全加盟都市の6歳以上15歳以下のこどもたちを対象にした絵画コンテストを実施しています。

7回目となる2024年度は、世界21か国123都市の子どもたちから4,208作品の応募があり、各加盟都市での審査を経て、617作品が平和首長会議事務局に送付されました。その中から入賞した20作品を紹介する動画を作成しました。

🔗 こどもたちによる“平和なまち”絵画コンテスト2024入賞作品紹介動画(平和首長会議ウェブサイト):
<https://youtu.be/-bZTOM7aAiM>

平和首長会議のウェブサイトより、過去の入賞作品の画像データをダウンロードいただけます。公共施設等における展示会の開催や各種イベント内での展示をご検討ください。希望される加盟都市の皆様には、ダウンロードに必要なユーザIDとパスワードをお伝えいたしますので、事務局までご連絡ください。

▼連絡先: Email: mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp TEL: 082-242-7821 FAX: 082-242-7452

🔗 こちらからコンテスト入賞作品のダウンロードができます。
<https://www.mayorsforpeace.org/ja/vision/initiative/art/drawings-data/>

■平和に関する取組の調査へのご協力をお願いします！

例年、日本国内の全加盟自治体を対象に、平和に関する取組の調査を実施しています。

令和6年度の調査については、1月22日付けのメールで依頼しておりますので、内容をご確認の上、2月21日(金)までにご回答をお願いいたします。

平和首長会議が掲げるPXビジョンの下、国内加盟自治体が連帯して平和に関する取組を進めることを通じて、核兵器のない平和な世界の実現に向けて、より一層の世論喚起を図りたいと考えていますので、ご協力の程よろしくお願いいたします。

▼問合せ先: Email: mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp TEL: 082-242-7821 FAX: 082-242-7452

■被爆80周年における平和文化の振興の取組について

〔広島市市民局平和推進課〕

今年は広島・長崎への原爆投下から80年の節目の年を迎えます。

広島市では、毎年11月に開催する平和文化月間の取組の強化などを通じて、行政のみならず市民や企業等が主体となり、平和文化を振興するための取組が、世代を超えて世界中に広がっていくような環境づくりに取り組んでいきます。

本市が行う平和文化の振興の取組等については、冊子『平和文化の振興』にまとめており、昨年12月に改訂版を作成しましたので、ぜひご覧ください。



平和文化月間におけるイベント開催の様子
写真提供：広島市

🔗 電子版『平和文化の振興』(PDF)はこちら(広島市公式ホームページ)：

<https://www.city.hiroshima.lg.jp/site/atomicbomb-peace/321223.html>

■2025年8月に第11回平和首長会議総会を長崎市で開催します

平和首長会議は、加盟都市が集う総会を原則として4年に1回広島・長崎両市で交互に開催し、重要な事項を議決・承認することとしています。

第11回平和首長会議総会は、以下の内容で開催する予定です。

【日程】

令和7年(2025年)8月7日(木)～8月10日(日)

【場所】

出島メッセ長崎(長崎県長崎市尾上町4-1)ほか

<https://dejima-messe.jp/>

【出席者の負担】

- ・出席負担金 1人当たり14,000円
- ・旅費

【参考】

長崎市で同日程で開催された第9回総会の開催実績

<https://www.mayorsforpeace.org/ja/new/2017/former-9th-gc-jp/>



第10回平和首長会議総会の様子
(2022年10月 広島市)

会議概要や参加登録情報をお知らせするアドバンスプログラムは、今年度末頃に発行予定です。被爆80周年を迎えるに当たり、多くの加盟都市のご出席をお待ちしております。

■平和首長会議は展示データ提供を行っています！

各地で様々な平和関連イベント等が開催される当たり、各加盟都市で活用いただける平和首長会議の展示を紹介させていただきます。加盟都市におかれましては、ぜひこの取組にご協力ください。

🔗 こどもたちによる“平和なまち”絵画コンテスト受賞作品(作者メッセージの展示用データもダウンロードできます)：

<https://www.mayorsforpeace.org/ja/vision/initiative/art/drawings-data/>

🔗 平和首長会議原爆ポスター展：

<https://www.mayorsforpeace.org/ja/vision/initiative/poster/>



■平和首長会議メンバーシップ納付金にご協力をお願いします

平和首長会議では、活動の活発化と連帯意識強化を図るため、メンバーシップ納付金制度を導入し、1自治体当たり年額 2,000 円の負担をお願いしています。

令和 5 年 10 月 27 日付け「第 11 回平和首長会議国内加盟都市会議総会について(報告)」でご報告しましたとおり、同総会において、メンバーシップ納付金の納付率の向上に取り組んでいくことを確認しました。これまで「予算措置がない」など未納の理由を申し出ていただいていた加盟都市におかれましても、今年度の納付及び今後の予算措置(年額 2,000 円)をお願いいたします。

また、加盟自治体の皆様へ令和 6 年 4 月 4 日付けで請求書等を郵送しております。現在も納付金の納付を受け付けておりますので、ご対応のほどよろしくお願いいたします。

なお、自治体判別のため、お振込の際には振込人のお名前の前に「全国地方公共団体コード」をご記入くださいますようお願いいたします。「全国地方公共団体コード」の入力が難しい場合はお手数ですが、お振込の日付と振込人のお名前を平和首長会議事務局までメールでお知らせください。

今年度の納付金の負担が困難な場合は、免除を希望する理由を記載の上、必ず平和首長会議運営課までメールでご連絡ください。

日本非核宣言自治体協議会の会員自治体は、平和首長会議メンバーシップ納付金の取扱いに関する要綱第 2 条第 4 項の規定に基づき、納付金が免除となりますので、平和首長会議運営課までお知らせください。皆様のご協力をお願いいたします。

▼Email: mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp

▼TEL: 082-242-7821 FAX: 082-242-7452

■加盟都市の活動紹介

●香川県高松市「令和 6 年度小・中学生のための平和講演会」を開催

高松市では、「小・中学生のための平和講演会」を実施しており、今年度は令和6年12月17日(火)に実施しました。

当日は、高松市立林小学校の6年生を対象に、広島で原爆を体験した長尾 昭雄(ながお てるお)さん(95)に講師を務めていただきました。

長尾さんは、16歳のとき、爆心地から1.8km離れた建物の中におり、強烈な熱線と強い爆風に包まれ、ドンという音を立てて倒壊した建物の下敷きになったことや、ガラスの破片が胸に刺さり生死をさまようような大けがを負ったことなど、自身の体験を語りました。

そして、「戦争は絶対にしてはいけません。平和な国でなければ幸せはありません。大切な命はひとつです。予備の命はありません」と締めくくり、平和の大切さを次の世代に伝えてほしいと訴えかけました。

講演を聞いた児童たちからは、「自分が今、平和に生きているのは長尾さんたちが当時の様子を伝えているからだと思った」などといった感想がありました。



写真提供: 高松市

●京都府京都市 被爆アオギリ二世の苗木を植樹

京都市立養正小学校に、子どもたちが元気に駆け回る、「ドリームワールド」というビオトープがあります。「被爆アオギリ二世をドリームワールドのシンボルツリーにしたい。」という声が学校から寄せられました。

平和の学びを進めていた6年生の教室に苗木が届いたのは、被爆体験伝承者の松田さんから原爆被害の話や授業の日。被爆者の体験を伝える話から、戦争・原爆の恐ろしさを実感しました。

11月7日、6年生全員で平和への願いを込めながら、苗木の植樹をしました。苗木を託す下級生へも、被爆アオギリ二世について自分たちの言葉で工夫しながら説明をしました。

6年生は、平和学習の集大成となる学習発表会において、戦時下の動物園で園長たちが必死にゾウを守り抜く実話を基にした「ぞうれっしゃがやってきた」を演じ、戦争の恐ろしさを観客へ伝えました。

まだ小さな被爆アオギリ二世は平和への想いを、養正小学校の子どもたちとともに未来へつないでいきます。



写真提供: 京都市

<< 貴自治体の平和活動の情報をお知らせください >>

平和首長会議事務局では、[行動計画](#)に盛り込まれている平和教育や平和文化等に関する行事等の情報を募集しています。平和首長会議ウェブサイトの「[加盟都市の活動](#)」コーナーでご紹介します。特に、次代の平和活動を担う青少年の育成に関する事業や、「平和文化の振興」に寄与する活動について、ご報告いただけますと幸いです。

是非、ご報告(最大400字程度)を写真とともに、平和首長会議事務局までお寄せください。

Email: mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp

=====

■平和教育の取組事例を募集しています

=====

平和首長会議事務局では、加盟都市での取組の活性化につなげていくために、各加盟都市において実施されている平和教育の取組事例を収集し、「平和首長会議ニュース」やウェブサイトで紹介しています。

これまでに寄せいただいた取組事例をウェブサイトに掲載しています。他都市の事例を参考にして、より多くの都市に平和教育の取組を広げていただければ幸いです。

 平和教育の好事例の紹介コーナー(平和首長会議ウェブサイト):

<https://www.mayorsforpeace.org/ja/vision/initiative/edu-example/>

また、事例募集は引き続き行っておりますので、随時情報提供をお願いいたします。頂いた取組事例は随時ウェブサイトでご紹介する予定です。

▼書類提出・問い合わせ先:

Email: mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp TEL: 082-242-7821 FAX: 082-242-7452

■平和首長会議加盟自治体数:166か国・地域 8,466自治体

2025年1月1日付で、8自治体が加盟し、加盟自治体数は8,466都市となりました。加盟促進に関する皆様のご協力に心から感謝申し上げます。

新たに加盟した国・地域と内訳は以下のとおりです。

国・地域名	新規加盟都市名	加盟都市数	備考
アルバニア	デヴォル等6都市	22	平和団体パスウェイズ・トゥ・ピースの呼び掛けにより加盟。
ネパール	チャビスパティベラ	43	
ソマリランド	ベルベラ	2	

平和首長会議では、核兵器のない平和な世界の実現に向けた大きな潮流をつくるため、**10,000都市加盟**を目指し、加盟拡大に取り組んでいます。海外の姉妹・友好自治体で、平和首長会議に未加盟の自治体がある場合は、是非加盟の呼び掛けにご協力をお願いします！



🔗 1月1日付新規加盟自治体一覧(PDF):

https://www.mayorsforpeace.org/wp-content/uploads/2024/file-2412-newmembers2501_jp.pdf

🔗 加盟都市数一覧(国・地域別) (PDF):

https://www.mayorsforpeace.org/wp-content/uploads/monthly/file-07_membership_by_country_jp.pdf

■平和首長会議行動計画に掲げる取組の実施にご協力ください

2021年7月にオンラインで開催した第12回平和首長会議理事会において、「[平和首長会議行動計画\(2021年－2025年\)](#)」が策定されました。この行動計画に掲げられた、世界恒久平和の実現に向けた取組の推進にご協力ください。

🔗 「平和首長会議行動計画(2021年－2025年)」(PDF):

https://www.mayorsforpeace.org/wp-content/uploads/2021/file-PX_Vision_Action_Plan.jp.pdf

🔗 行動計画に基づく取組(平和首長会議ウェブサイト):

<https://www.mayorsforpeace.org/ja/vision/initiative/>



■長崎大学核兵器廃絶研究センターから:2024年版「世界の核弾頭データ」ポスター解説③

ここまで3回にわたって、2024年版ポスターの概要を紹介してきました。今回は、ポスターに関連した「よくある質問」に答えていきたいと思います。

Q 核弾頭の数はどうやって数えているの？

ポスターで示されている各国の保有数はすべて推定です。一般的に、核兵器に関する情報は国家の軍事機密であり、いずれの国も詳細なデータを公表していません。とりわけロシア、中国、インド、パキスタン、北朝鮮に関しては、核弾頭の総数を含めて公的な情報はきわめて限定的です。イスラエルに至っては核保有の有無も明らかにしていません。

そこで、この問題に取り組む研究者や専門家は、核兵器の材料となる核物質の保有量など様々な角度からの情報を基に、各国の保有核兵器の数や種類、配備状態を推察しています。ポスターもそうした様々な情報源からのデータを精査して作られています。

Q 今存在する核弾頭は、広島・長崎原爆とどう違う？

科学技術の進歩により、80年前と現在では核兵器の能力は大きく異なります。現在の核兵器の爆発力は、平均して広島・長崎原爆の数倍から数十倍にも上ります。つまり今の基準で言えば、広島・長崎に使われた原爆は「小型」と言えるのです。

また、核兵器の種類もさまざまに増えています。陸海空のすべてにわたって、長距離を高速で飛ぶもの、ピンポイントで目標を狙うものなど、最新鋭の能力を備えた核兵器の開発・配備が進んでいます。

Q 核兵器が使われたらどうなるの？

広島・長崎の原爆の記憶は、たった一発の核兵器でも使われてしまったら何が起きるか、どれほどの長期にわたって人々を苦しめ続けるのかを示しています。



2024 年版「世界の核弾頭データ」ポスター
提供: 長崎大学核兵器廃絶研究センター(RECNA)

またRECNAなどが発表した北東アジア地域における核兵器使用の被害想定では、攻撃を受けた地域で数か月以内の死者は数百万人、さらに放射線の影響などで1年以上経過した後の死者も数十万人に上る場合があるとしています。(次号に続く)

被爆80年となる2025年が明けました。昨年は、核兵器のない平和な世界を訴える被爆者、そして広島と長崎、日本と世界の市民からの発信がさまざまな形で世界に届いた年だったのではないのでしょうか。それでもなお、世界の核状況は非常に厳しく、核兵器はいつ使われてもおかしくない状況だと言われています。昨年の日本被団協へのノーベル平和賞授与も、そのような危機感が根底にあったのでしょうか。

このメールマガジンに関するご意見、お問合せ等は下記までご連絡ください

平和首長会議事務局

〒730-0811 広島市中区中島町1-5 (公財)広島平和文化センター 平和首長会議運営課

TEL: 082-242-7821 FAX: 082-242-7452

Email: mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp

平和首長会議メールマガジンの最新号やバックナンバーは、次のアドレスからご覧いただけます。

<https://www.mayorsforpeace.org/ja/new/newsflash>

【平和首長会議公式SNSアカウント】

〈X(旧ツイッター)〉  **@Mayors4Peace**
<https://x.com/Mayors4Peace>



〈フェイスブック〉  **@mayorsforpeace**
<https://www.facebook.com/mayorsforpeace>



フォロー、拡散、「いいね」、コメントをお願いします！